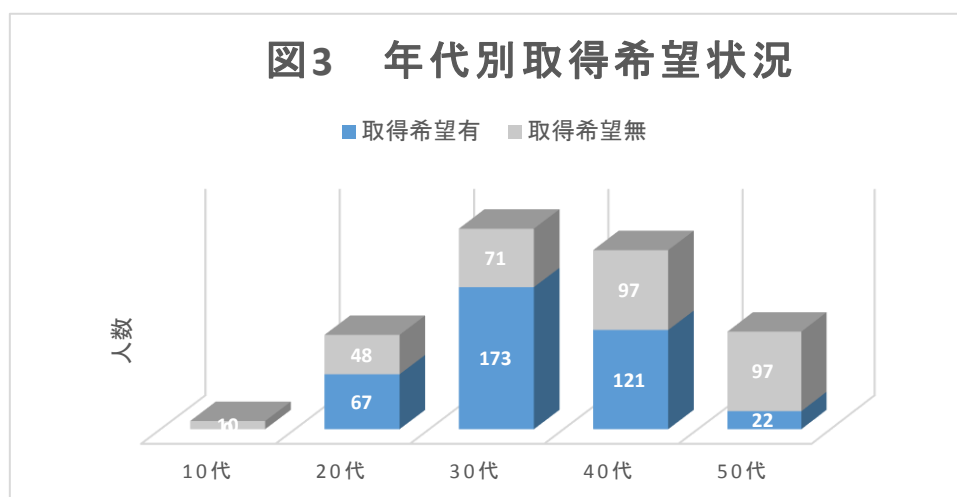
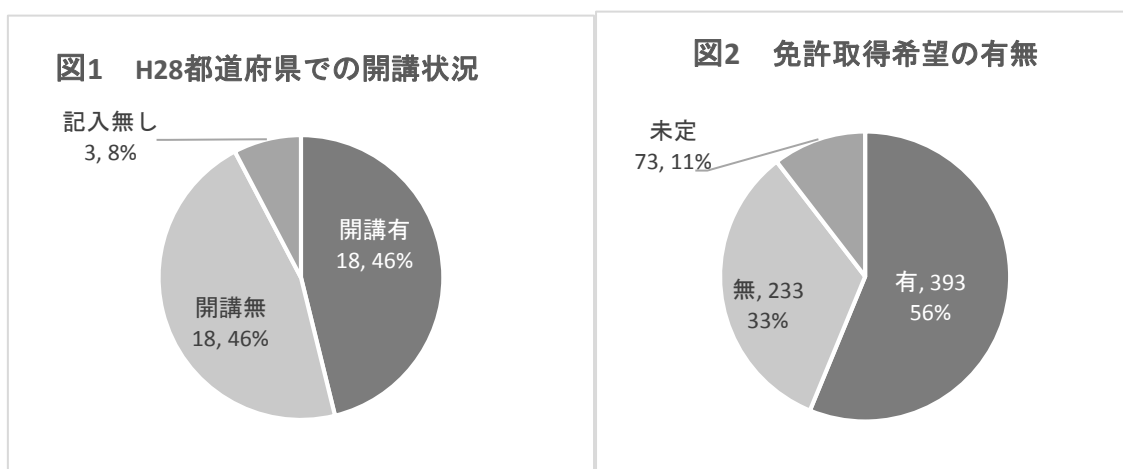


実習助手の実習教諭免許（単位）取得に関する調査（H28）

1. 調査目的

実習助手の内、免許取得希望者がどれだけいるか、そして希望者が十分に単位取得の機会があるのかを把握し、本協会として関係各機関に働きかけをして単位取得に向けた機会の確保を講ずる。

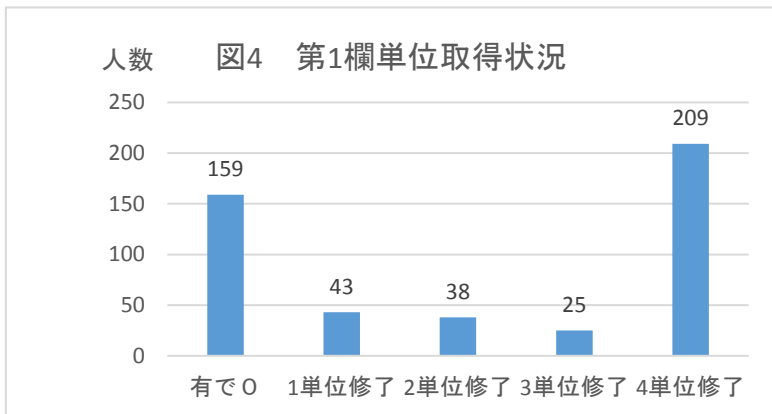
2. 調査結果



・図1の回答は同じ都道府県でも学校によって開講の有無が異なる回答があった。周知が徹底されていないと思われる。「有」として集計した。

・図2では、取得済みの場合、希望の有無の付け方がばらついてしまった。このことを考慮しても希望者は依然としてたくさんいる。

・図3において、30代では244人中173人（71%）が取得希望である（前出のとおり、希望無の71人の中にはすでに取得済みのため希望無と回答した場合もある）。



必修得単位数

教科に関する科目

第1欄 4単位

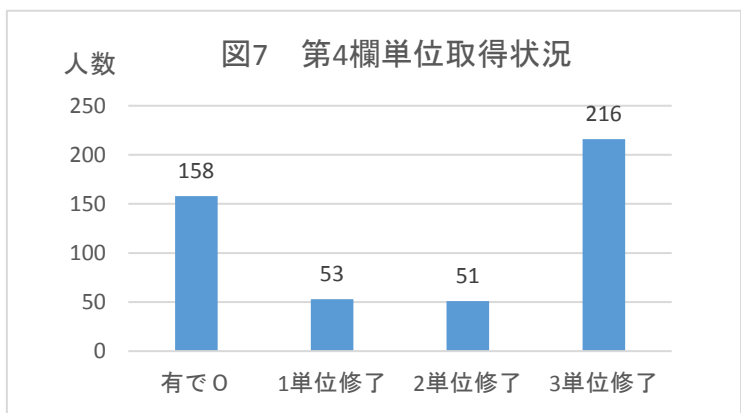
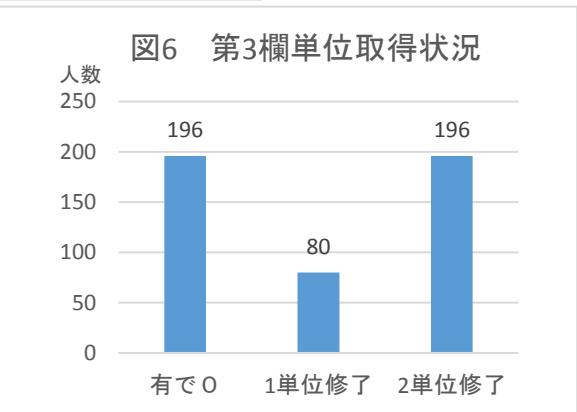
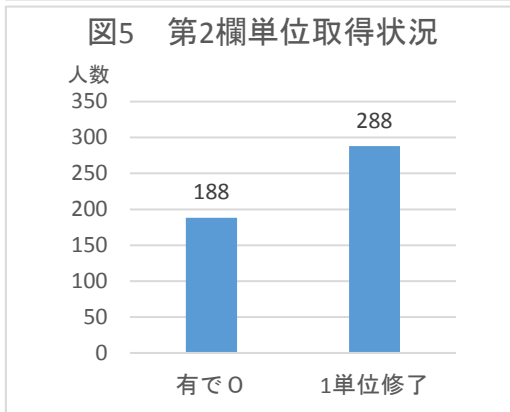
第2欄 1単位

教職に関する科目

第3欄 3単位中2単位

第4欄 7単位中3単位

計 10単位



- ・図4は区分の第1欄の単位取得状況である。取得希望で0単位から3単位の合計が、今後受講を希望していることになる。合計は265人で全調査人数706人のうち37.5%となる。
- ・同様に図5は188人(26.6%)、図6は276人(39.0%)、図7は262人(37.1%)

3. まとめ

依然として多くの実習助手の方々が免許取得を希望していることが明らかになった。特に30代、40代の意欲が高く、各都道府県での開講が必要である。しかし半数の都道府県で実施されておらず、近隣へ出向いての受講をされているのではないかとと思われる。今回の結果を元に関係各機関に要望を働きかけたい。